

伊勢志摩サミット三重県民会議第3回企画運営部会

事項書

日時：平成27年9月14日（月）

13:30～14:00

場所：伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

5F 会議室

1. 開会

2. 議題

（1）平成27年度収支予算（修正案）について

①支出：各事業に伴う経費予測

②収入：寄附金状況

（2）広報全体計画について

（3）伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画について

（4）全体スケジュールについて

3. 閉会

【配布資料】

- ・資料1-1：平成27年度収支予算（修正案）
- ・資料1-2：協賛、応援、寄附の申込状況等について
- ・資料2：広報全体計画について
- ・資料2別表：伊勢志摩サミット開催に向けた広報全体計画（案）
- ・資料3：事業計画
- ・資料4-1：伊勢志摩サミットに係る今後の会議等のスケジュール
- ・資料4-2：伊勢志摩サミット開催に向けた今後のスケジュール

伊勢志摩サミット三重県民会議 平成27年度収支予算（修正案）

1 収入の部

（単位：千円）

科 目	本年度予算額	摘 要
負担金	(100,000) 302,748	県負担金、市町負担金 寄附金等
諸収入	0	その他
合計	(100,000) 302,748	

2 支出の部

（単位：千円）

科 目	本年度予算額	摘 要
事業費	(87,000) 233,990	開催支援、事業推進経費
事務局費	(13,000) 68,758	事務局運営経費、予備費
合計	(100,000) 302,748	

伊勢志摩サミット三重県民会議

平成27年度収支予算(修正案) 内訳

収入

(単位:千円)

科目	項目	主な内容	予算額
負担金	県負担金		(87,000)
			139,748
	寄附金分		(0)
			150,000
	市町負担金	志摩市	6,000
		伊勢市	3,000
		鳥羽市	3,000
		南伊勢町	1,000
諸収入	その他		0
合計			(100,000)
			302,748

※県負担金については、県予算が決定していないため、修正となる場合があります

支出

(単位:千円)

科目	項目	主な取組	予算額
事業費	開催支援	宿泊予約センターの設置、輸送サービスの円滑な提供 配偶者プログラムの提案 弁当供給センターの設置 インフォメーション機能の整備 警備関係への協力や住民への情報提供 開催機運を盛り上げるためのレセプション開催など	
		計	(3,400) 22,150
	おもてなし	機運醸成に向けたサミットフォーラムの開催 クリーンアップ活動・花いっぱいおもてなし運動の実施 おもてなし向上研修などの実施	
		計	(7,000) 38,403
	明日へつなぐ	ジュニアサミットの開催 多様な主体における国際理解・国際交流事業の開催	
		計	(28,000) 13,380
	三重の発信	シンボルマークの制定、ロゴマーク募集事業への協力依頼 ホームページ、SNSでの発信 ポスター、リーフレット、チラシ等によるPRの実施 プレス等を活用した情報発信 三重県情報館(仮称)の設置 三重テラス、関西事務所など県外でのイベント等の展開 海外ミッションの機会等を利用したPRの実施など	
		計	(48,600) 160,057
事務局費	県民会議開催費	総会、役員会、部会の開催	(2,000) 2,300
	事務局運営費	一般事務費等	(11,000) 19,740
	予備費		(0) 46,718
		計	(13,000) 68,758
合計			(100,000)
			302,748

協賛、応援、寄附の申込状況等について

平成 27 年 9 月 14 日

8 月 31 日より開始した、協賛、応援、寄附の募集にかかる 9 月 10 日時点での申込状況は、下記のとおりです。

協賛	応援	寄附	
2 件 うち登録 1 件	22 件 うち登録 14 件	19 件 82,525,538 円	
		法人	個人
		7 件 81,350,000 円	12 件 1,175,538 円

協賛、応援の事業提案内容は、別添のとおりです。

協賛、応援登録状況

H27.9.10 時点

伊勢志摩サミットにかかる協賛、応援について、現時点での登録状況は、下記のとおりです。

【協賛】

申請件数 2
うち登録件数 1

登録案件一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	三重トヨタ自動車株式会社	クリーンアップ運動へのごみ袋等提供他	済	○
2	—	—	—	未	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

【応援】

申請件数 22
うち登録件数 14

登録案件一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	株式会社百五銀行	百五観光アカデミー開催	済	○
2	H27.8.28	堀口文宏の志摩っていこうぜ運営委員会	志摩の魅力を動画番組、SNS等で配信	済	○
3	H27.8.28	三重の大酒蔵市実行委員会	県内の酒蔵と四日市市飲食店のコラボイベント	済	○
4	H27.9.1	村林浩代ソプラノリサイタル実行委員会	リサイタルの売上の一部を県民会議へ寄附	済	○
5	H27.9.2	JAグループ三重 JA事業サポートセンター	「伊勢志摩サミット2016」ポスターの店頭掲示	済	○
6	H27.9.2	「名港水上芸術花火2015」開催委員会	名古屋港ガーデンふ頭でサミット記念花火大会	済	○
7	H27.9.2	イオンリテール株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
8	H27.9.2	マックスバリュ中部株式会社	県内店舗で伊勢志摩サミットポスターの掲示	済	○
9	H27.9.2	イオンリテール株式会社	関西圏店舗で「三重県フェア」開催	済	○
10	H27.9.2	三重信用金庫	「伊勢志摩サミット記念定期」を販売し利息の一部を寄附	済	○
11	H27.9.3	キリンビールマーケティング株式会社	記念デザイン肩ラベル品販売、売上1本につき1円を寄附	済	○
12	H27.9.3	三重県漁業協同組合連合会	伊勢志摩サミット開催PRのための看板設置	済	○
13	H27.9.4	一般社団法人三重県食品衛生協会	サミット成功に向け食中毒を発生させないセミナー開催	済	○
14	—	—	—	未	—
15	—	—	—	未	—
16	—	—	—	未	—
17	H27.9.4	全国詩曲音楽連盟	サミットの記念曲(イメージソング)の制作	済	○
18	—	—	—	未	—
19	—	—	—	未	—
20	—	—	—	未	—
21	—	—	—	未	—
22	—	—	—	未	—
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

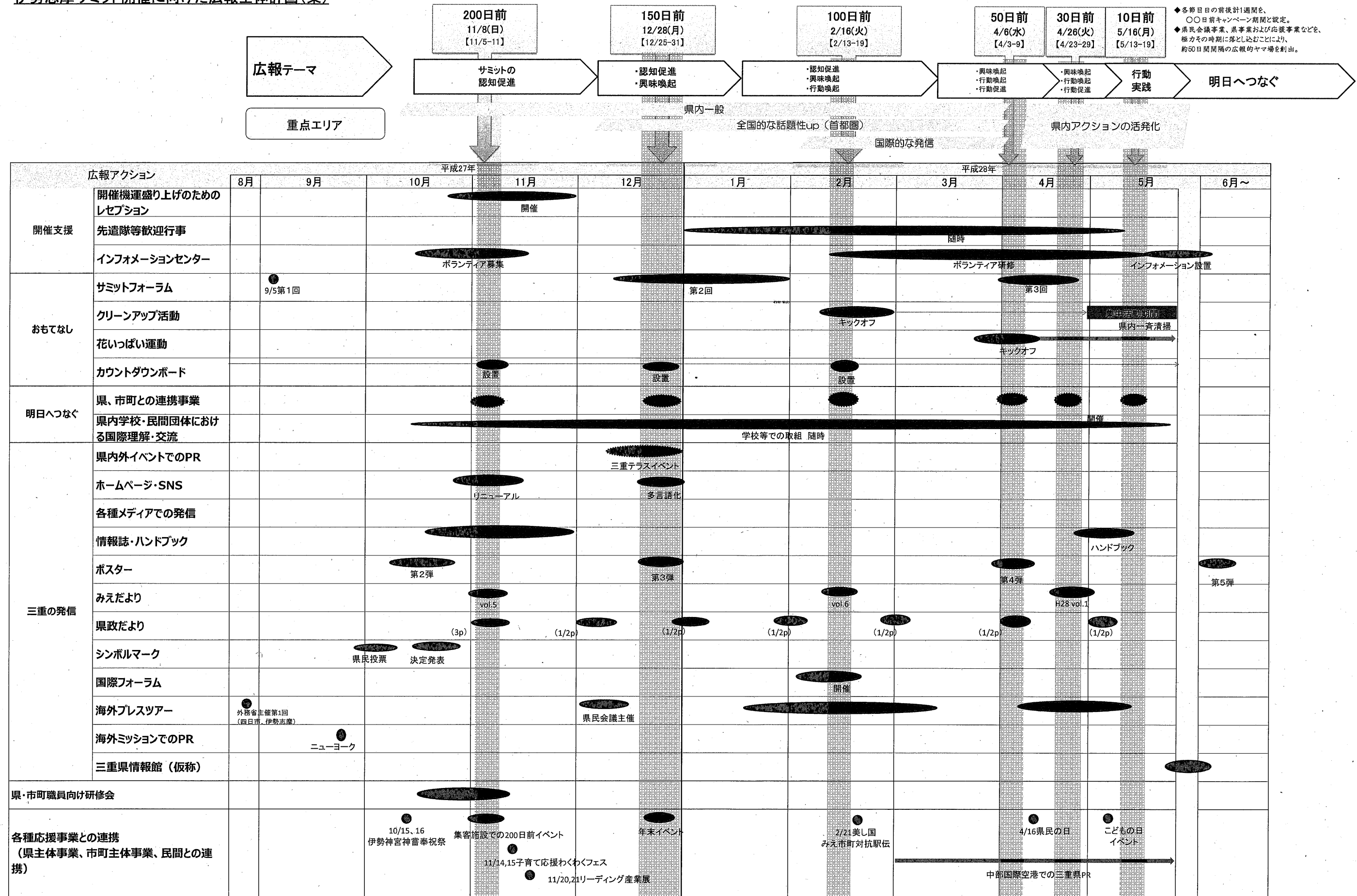
広報全体計画について（案）

1 基本的な考え方

- ◆本日現在、サミット開催まで 255 日。この残された 255 日間全体の広報計画を、以下の考え方で展開したい。
- ①県内外の一般およびプレス関係者など全てのステイクホルダーにとって分かりやすい、開催までの節目日（200 日前、100 日前等）を展開軸とする。
- ②節目日を含む概ね 1 週間を、「〇〇日前ウィーク」と設定。県および県民会議の自主事業や市町連携事業さらには応援事業等の広報要素を、「〇〇日前ウィーク」の中に束ねる計画としていく。
- ③およそ 50 日間隔の「広報・発信のリズム」「広報のヤマ場」を創ることで、広報のテーマ浸透や県民参加などの各種活動を活発・推進させたい。
- ④上記に合わせて、各部局および県内企業の独自事業についても、各節目期での開催を呼びかける。

2 各節目時期の主な活動（※調整中の案件を含む）

- ◆200 日前（2015 年 11 月 8 日（日））＜200 日前ウィーク；11 月 5～11 日＞
 - ・（協賛事業ほか）カウントダウンボード一斉設置（3 県 1 市も検討）
 - ・（応援事業）新聞・TV 等でのカウントダウンスタート
 - ・（応援事業）県内集客施設での 200 日前イベント
- ◆150 日前（12 月 28 日（月））＜150 日前ウィーク；12 月 25～31 日＞
 - ・第 2 回サミットフォーラム
 - ・三重テラスでのイベント
 - ・公募デザインによる第 3 弾ポスター（おもてなしの心）掲出開始
 - ・その他県内年末イベントとの連携
- ◆100 日前（2016 年 2 月 16 日（水））＜100 日前ウィーク；2 月 13～19 日＞
 - ・国際フォーラムの開催
 - ・「美し国みえ市町対抗駅伝」での PR（2 月 21 日（日）、津～伊勢）
 - ・クリーンアップ活動キックオフイベント（3 県 1 市も検討）
- ◆50 日前（2016 年 4 月 6 日（火））＜50 日前ウィーク；4 月 3～9 日＞
 - ・第 3 回サミットフォーラム
 - ・4 月 16 日「県民の日」イベント
 - ・公募デザインによる第 4 弾ポスター掲出開始
 - ・花いっぱい運動飾花キックオフイベント
- ◆30 日前（2016 年 4 月 26 日（火））＜30 日前ウィーク；4 月 23～29 日＞
 - ・こどもの日イベント
- ◆10 日前（2016 年 5 月 16 日（月））＜10 日前ウィーク；5 月 13～19 日＞
 - ・県内一斉清掃活動



平成 27 年 9 月 14 日

伊勢志摩サミット県民会議事務局

伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画

1 「開催支援」に関すること

◆ 伊勢志摩サミット宿泊予約センターの設置（事業番号 1）

サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊に関するサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行う伊勢志摩サミット宿泊予約センターを設置する。

◆ 配偶者プログラムの提案（事業番号 2）

首脳会議が 1 泊 2 日で予定されていることから、その期間内での実施することを想定し、テーマ性やストーリー性を持たせた訪問先やコンテンツを総合的に検討し、三重県の魅力がプログラムに盛り込まれるよう、国への提案を行う。

◆ 県産食材等の利用促進に向けた取組（事業番号 6）

全県をあげて、質の高い県産食材等をリストアップし、サミットにおける国の公式プログラムやレセプション等のほか、プレスツアー等の行事の食事メニューにおいて採用されるよう、県産食材等の活用を国や関係ホテル等に対して積極的に提案する。

◆ 弁当供給体制の整備（事業番号 7）

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供するための体制を整備し、関係者用の受注窓口を設置する。三重県産食材の使用も含めて検討を行う。

◆ インフォメーション機能の整備（事業番号 16）

世界各国からの来訪者をおもてなしの心でお迎えするため、外国語案内ボランティアを幅広く募集し、地元市町・団体等との協力により、空港や駅等における移動支援・観光案内等のインフォメーション機能を提供する。

◆ 輸送サービスの円滑な提供

関係者の円滑な移動のため、バス等の移動手段の運行に係る協力、支援を行う。

◆ 警備関係への協力や住民への情報提供

地元市町等と調整のうえ、住民懇話会を開催し、サミットに関する情報を、地元関係団体・住民に提供し、伊勢志摩サミット開催に対する理解促進と機運醸成、警備体制の理解を求め、住民が有する疑問や課題の解決を行う。

◆ 公式行事に伴う歓迎交流

空港等における歓迎行事や歓迎レセプションを国等と連携して実施し、来県する各国首脳等に、歓迎の意を表明する。

県民（特に子どもたち）が各国首脳と触れ合う機会をつくるため、交流行事を検討する。

◆ 伊勢志摩サミットの開催機運を盛り上げるためのレセプション開催

サミット関係大使館等を招き、サミットの開催機運を盛り上げるとともに三重の魅力を伝えるため、レセプションを開催する。

2 「おもてなし」に関すること

◆ 機運醸成に向けたサミットフォーラムの開催（事業番号5）

伊勢志摩サミットへの理解を深め、開催機運を醸成するため、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」などを県民とともに考えるサミットフォーラムを開催する。

◆ クリーンアップ活動・花いっぱいおもてなし運動の実施（事業番号8）

世界各国からの来訪者に対し、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わるため、全県的に環境美化・清掃活動、飾花運動を行う。キックオフイベントを行うことで県民参加による伊勢志摩サミット開催の機運醸成や参加意識の向上を目指す。

◆ カウントダウンボード、ノベルティを活用したPRの実施（事業番号11）

伊勢志摩サミットに向けて、協賛事業も活用しながら県内外の各地にカウントダウンボードを設置することで、伊勢志摩サミット開催の機運醸成を目指す

関係閣僚会合や三重テラス等PR効果の高い県外でのイベントや三重県で開催される全国大会等において、ポストカード等の各種PRツールを用いて幅広く周知を行う。

◆ おもてなし向上研修などの実施

世界各国からの訪問者に満足いただけるおもてなしを行うとともに、国際観光地としてレベルアップのため、外国人接客研修の実施や、外国人接客用のハンドブックの制作・配布を行う。

3 「明日へつなぐ」取組に関すること

◆ ジュニアサミットの開催（事業番号3）

三重の魅力の発信や明日へつながる交流を残すため、ジュニアサミットの県内開催を要望し、開催決定した際には、三重県の独自性を生かすとともに、県内高校生が参加者と交流できる機会を可能な限り設定したプランを国に提案する。

◆ 多様な主体における国際理解・国際交流事業の開催（事業番号15）

サミットの開催を契機として、サミット参加国について学ぶ機会を設け、学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体が、国際理解・国際交流を深める機会を提供する。特に次代を担う子どもたちが多文化を理解し、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとすることで、明日を担う世代の育成を目指す。

4 「三重の発信」に関すること

◆ シンボルマークの制定（事業番号4）

県民会議や県民会議の活動に賛同する多くの県民が自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成し、広報活動に活用することで伊勢志摩サミット開催の機運醸成を行う。シンボルマーク作成にあたっては、北勢きさら学園在校時の作品が2008年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用された近藤氏に依頼し、北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信する。

◆ ロゴマーク募集事業への協力依頼

伊勢志摩サミット開催の機運醸成のため、県内学校等に向けて国のロゴマーク募集事業への積極的な協力を依頼する。

◆ ホームページ、SNSでの発信（事業番号9）

ホームページ、Facebook、Twitterを活用し、県民会議の取組、三重の魅力やサミットに向けた情報を効果的に幅広く発信する。

◆ ポスター、リーフレット、チラシ等によるPRの実施（事業番号10）

伊勢志摩サミット開催の機運醸成と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする「伊勢志摩サミット2016」ポスターを第5弾まで作成、多くの人々に伊勢志摩サミットの三重県開催のPRを実施する。

◆ プレス等を活用した情報発信（事業番号12）

国内外のメディアに三重県を取材する機会を提供し、三重県ならではの体験や三重県の多彩なコンテンツを体感いただき、三重県の魅力を国内外へ発信することで、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透を図るため、プレスツアー等を実施するだけでなく、プレスツアーへの参加を呼び掛けるイベントを開催する。

◆ 三重県情報館（仮称）の設置（事業番号13）

国際メディアセンター内に、国内外から来県する多数の報道関係者等を通じて、三重県の魅力を国内外に発信するための拠点として三重県情報館（仮称）を設置し、日本の中の「地方」の代表として三重県の魅力を課題も含め発信する。

◆ 三重テラス、関西事務所など県外でのイベント等の展開

伊勢志摩サミット開催及び開催地である三重県の全国的な発信のため、三重テラス等にて、2016年伊勢志摩サミット開催決定記念イベント等を展開する。

◆ 海外ミッションの機会等を利用したPRの実施

三重県での伊勢志摩サミット開催をアピールするとともに、三重県の知名度向上を図るため、県が主催する海外ミッションにおいて伊勢志摩サミットに関するPRを実施する。

伊勢志摩サミットに係る今後の会議等のスケジュール

項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
1 県民会議									
1. 総会		13日 第2回総会 役員会の議論をふまえた審議						第3回総会 H27事業報告決算 H28事業計画収支予算	
2. 役員会		16日 第2回役員会 H27事業計画(改定)収支予算(改定)					下旬 第3回役員会 H28事業計画収支予算		
3 部会		14日 第3回部会 H27事業計画(改定)収支予算(改定)	下旬 第4回部会 H28事業計画(案)収支予算(案)	第5回部会 H28事業計画(案)収支予算(案) 寄附金の状況		第6回部会 H28事業計画収支予算	第7回部会 H27事業報告決算(案)		
		事業の企画、提案	H28事業の企画、提案 H27事業の取組状況	H28事業計画(案)		H28事業計画			
2 市町との連絡調整(市町連絡調整会議) (地域連絡調整会議)			下旬 第3回会議 市町との連携情報共有	第4回会議			第5回会議		
3 国等関係機関との連絡 (国等関係機関連絡会議)			下旬 第2回会議 国等関係機関との情報共有				第3回会議		
4 庁内体制 (推進本部会議)	9日 第4回本部会議 各部局等の取組状況	25日 第5回本部会議 県産材利用 東海地域との連携	22日 第6回本部会議 各部局等の取組状況 ポストサミット H28サミット関連予算の整理	26日 第7回本部会議 各部局等の取組状況 H28組織体制 H28サミット関連予算の要求	24日 第8回本部会議 各部局等の取組状況	関係部局と総合調整、情報共有(進捗管理)			
				第9回本部会議		第10回本部会議	第11回本部会議	第12回本部会議	
県議会	9月定例会会議		11月定例会会議		2月定例会会議		3月会議		

伊勢志摩サミットの開催(26日、27日)

伊勢志摩サミット開催に向けた全体のスケジュール

資料4-2

2015年9月14日

